2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月16日

上 場 会 社 名　　株式会社ジョイフル　　上場取引所　　福
コ ー ド 番 号　　9942　　URL　http://www.joyfull.co.jp
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　穴見　くるみ
問合せ先責任者　（役職名）　取締役管理本部長　　（氏名）　野島　豊　　（TEL）097-551-7131
配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	19,870	2.9	1,758	△3.0	1,790	△1.4	1,092	△3.4
2026年６月期第１四半期	19,319	4.8	1,812	△14.9	1,817	△14.5	1,130	△37.8

（注）包括利益　2027年６月期第１四半期　1,069百万円（△12.7%）　2026年６月期第１四半期　1,225百万円（△32.3%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	35.31	―
2026年６月期第１四半期	36.57	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	36,034	16,242	44.8
2026年６月期	34,189	15,601	45.3

（参考）自己資本　2027年６月期第１四半期　16,126百万円　　2026年６月期　15,491百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	―	5.00	―	10.00	15.00
2027年６月期	―				
2027年６月期(予想)		5.00	―	5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	38,980	5.0	2,190	△25.2	2,230	△24.9	2,900	54.7	93.73
通期	76,350	5.0	4,510	△2.2	4,680	△1.1	4,420	38.4	142.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　―社（社名）―　　、除外　　―社（社名）―

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	31,931,900株	2026年６月期	31,931,900株
②　期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	991,768株	2026年６月期	991,768株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	30,940,132株	2026年６月期１Ｑ	30,921,391株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期連結累計期間の経営成績等の概況 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（重要な後発事象） …… 8

１．当四半期連結累計期間の経営成績等の概況

（１）経営成績の分析

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、AI関連需要等を背景として緩やかな回復傾向にありますが、先行きについてはエネルギー価格や原材料価格の高騰、為替相場における円安の長期化、中東情勢による地政学リスクなどの影響を注視していく必要があります。

外食業界においては、個人消費は底堅く推移しておりますが、エネルギー価格、人件費、原材料価格の上昇など、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは今後の中長期的な成長戦略を実現するため、既存のイートイン事業はもちろんのこと、テイクアウトやデリバリー販売、量販店や通販サイトを通じた販売の強化、社員独立フランチャイズ店舗の拡大など子会社を含めたグループ全体のパフォーマンス向上に取り組んでまいりました。

商品施策では、既存商品のブラッシュアップを継続して提供品質の向上を進めると同時に、試験販売を繰り返してお客様の消費動向を慎重に分析した上で、グランドメニューの改定を１回、秋フェア「美味めぐり」を行いました。

グランドメニューの改定では、肉厚でふっくらと焼き上げたうなぎを特製のタレで仕上げた「うな丼」や、出汁のうまみを感じるうどんと甘酸っぱいユーリンチーソースが絡む鶏の唐揚げの組み合わせが絶妙な「ユーリンチーうどん」など、暑い季節を乗り切るための、必食メニューを揃えました。また、一部の人気メニューにおいてプライスダウンを実施しました。秋フェアでは、ジョイフルで人気の「チーズハンバーグ」と「５種チーズのとろ～りチーズインハンバーグ」を一皿で楽しめる贅沢な一品「ふたつの味わいチーズハンバーグセット」をはじめ、鰹節の旨味が広がる濃厚なつけ汁が食欲をそそる「鰹節香る濃厚つけ麺と明太子ご飯」、秋の味覚の栗を存分に味わえる「深まる秋のモンブランパフェ」など、食べ応えのあるメニューから食後を彩るスイーツまで、秋ならではの味覚を一度に楽しめるメニューをラインアップしました。

さらに、７月には2024年に好評いただいた大人気アニメ「鬼滅の刃」とのコラボキャンペーンを再び行い、「炭治郎（たんじろう）の炎舞ハンバーグ＆義勇（ぎゆう）の水面斬り牛焼肉」や「宇髄天元（うずいてんげん）のド派手なピリ辛チキン南蛮定食」などのメニューを販売し、累計販売数100万食を突破するメガヒットを記録しました。

営業施策では、重点的な取り組みとして、料理のクオリティー維持・向上及び料理の提供時間の安定を目的にチェックシートを活用してひとつひとつの作業の徹底を行い、良い品質で、見た目にもきれいで、鮮度の良いおいしい料理を安定的に提供できるように努めてまいりました。

また、販売促進として「鬼滅の刃」とのコラボレーションTVCMを放映しました。７月には「美味しくて楽しいジョイフル」をご体験いただくために、大阪府梅田にある「OSAKA FOOD LAB」にてポップアップストアを４日間限定で開催いたしました。さらに、公式アプリでの「来店ガチャキャンペーン」をはじめ、XやInstagramでのキャンペーンなど、SNSを通じたプロモーションを実施しました。

店舗展開につきましては、ショッピングセンターへの出店として「Joyfull kitchen」及び「JOYFULL EXPRESS」の展開を進めております。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間における店舗数は、グループ直営店８店舗の出店、グループ直営店１店舗の退店により678店舗となりました。また、フランチャイズからグループ直営へ１店舗転換を行ったことにより、グループ直営396店舗、フランチャイズ282店舗となりました。

以上の取り組みを行った結果、当第１四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は19,870百万円（前年同期比2.9％増）、営業利益は1,758百万円（前年同期比3.0％減）、経常利益は1,790百万円（前年同期比1.4％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,092百万円（前年同期比3.4％減）となりました。

なお経営指標としている「総資本経常利益率」「売上高経常利益率」「労働生産性」及び「株主資本当期純利益率」の数値改善のため、より一層の経営努力に努めてまいります。

また、当社は保険代理店業を行う特例子会社を所有しておりますが、連結業績に占める割合が極めて軽微であり、当社グループの報告セグメントがレストラン事業一つであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（２）財政状態の分析

ⅰ）資産の部

当第１四半期連結会計期間末の総資産は36,034百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,844百万円の増加となりました。これは主に、建設仮勘定の増加1,617百万円、現金及び預金の減少532百万円、売掛金の増加307百万円、原材料及び貯蔵品の増加195百万円、機械装置及び運搬具の増加109百万円によるものであります。

ⅱ）負債の部

当第１四半期連結会計期間末の負債合計は19,792百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,204百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金の増加1,434百万円、短期借入金の増加1,070百万円、未払法人税等の減少979百万円、未払費用の減少622百万円によるものであります。

ⅲ）純資産の部

当第１四半期連結会計期間末の純資産合計は16,242百万円となり、前連結会計年度末に比べ640百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加1,092百万円、資本剰余金の減少428百万円によるものであります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,205	1,673
売掛金	1,722	2,029
商品及び製品	867	941
原材料及び貯蔵品	1,479	1,674
その他	868	900
流動資産合計	7,144	7,219
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,581	10,599
機械装置及び運搬具（純額）	1,703	1,812
工具、器具及び備品（純額）	552	524
土地	8,251	8,343
リース資産（純額）	179	155
建設仮勘定	199	1,817
有形固定資産合計	21,467	23,252
無形固定資産	670	673
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,553	2,584
その他	2,353	2,304
貸倒引当金	△0	―
投資その他の資産合計	4,906	4,888
固定資産合計	27,045	28,814
資産合計	34,189	36,034

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,646	2,626
短期借入金	400	1,470
1年内返済予定の長期借入金	1,203	896
未払費用	2,997	2,374
未払法人税等	1,654	674
未払消費税等	674	734
賞与引当金	101	388
その他	1,981	2,261
流動負債合計	11,660	11,427
固定負債		
長期借入金	2,497	3,931
役員退職慰労引当金	152	152
退職給付に係る負債	736	744
資産除去債務	3,241	3,273
その他	300	263
固定負債合計	6,927	8,365
負債合計	18,588	19,792
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	4,223	3,794
利益剰余金	12,291	13,383
自己株式	△1,482	△1,482
株主資本合計	15,132	15,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189	160
土地再評価差額金	△1	△1
為替換算調整勘定	78	85
退職給付に係る調整累計額	93	85
その他の包括利益累計額合計	359	330
非支配株主持分	109	115
純資産合計	15,601	16,242
負債純資産合計	34,189	36,034

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
売上高	19,319	19,870
売上原価	7,628	8,442
売上総利益	11,690	11,428
販売費及び一般管理費	9,878	9,669
営業利益	1,812	1,758
営業外収益		
受取利息	1	1
不動産賃貸収入	27	30
その他	26	48
営業外収益合計	55	81
営業外費用		
支払利息	24	22
不動産賃貸原価	19	22
その他	7	4
営業外費用合計	51	49
経常利益	1,817	1,790
税金等調整前四半期純利益	1,817	1,790
法人税、住民税及び事業税	532	671
法人税等調整額	145	21
法人税等合計	677	693
四半期純利益	1,139	1,097
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,130	1,092

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	1,139	1,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62	△29
為替換算調整勘定	28	9
退職給付に係る調整額	△4	△7
その他の包括利益合計	86	△27
四半期包括利益	1,225	1,069
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,211	1,063
非支配株主に係る四半期包括利益	14	6

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社グループは、報告セグメントがレストラン事業一つであるため、記載を省略しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	459百万円	493百万円

（重要な後発事象）

（子会社の設立）

当社は、2026年年11月16日開催の取締役会において、ベトナム社会主義共和国に当社100％出資の子会社を設立することを決議いたしました。

なお、新会社は資本金額が当社資本金額の100分の10以上に相当する見込みであることから、当社の特定子会社の異動に該当します。

（１）子会社設立の目的

当社は、持続的な成長を目指し、海外事業の展開を推進しております。

ベトナムは、人口増加や所得水準の向上に伴い、今後も外食市場の成長が期待されることから、同国におけるファミリーレストラン「ジョイフル」の出店・運営を本格的に推進し、将来的な多店舗展開に向けた事業基盤を構築するため、現地子会社を設立することといたしました。

（２）設立する子会社の概要

①名称	VIETNAM Joyfull Restaurant Limited Liability Company	
②所在地	ベトナム社会主義共和国ハノイ市	
③代表者	國吉 康信、平林 尚士	
④事業内容	ファミリーレストラン『ジョイフル』の展開を中心としたレストラン事業、食品・飲料等の卸売・輸出入およびこれらに付随する事業	
⑤資本金	約4億円	
⑥設立予定日	2027年3月　（予定）	
⑦大株主及び持ち株比率	当社グループ100％	
⑧上場会社と当該会社の関係	資本関係	当社グループ100％出資の子会社として設立
	人的関係	当社役員が当該子会社の役員を兼任予定
	取引関係	該当事項はありません。